

2014年度 第2回 農村計画本委員会 議事録

開催日：2014年9月12日(金) 12:00-14:00

場所：神戸大学工学部 D1-203

出席者：委員長：岡田知子

委員 浅井秀子、大沼正寛、菊池義浩、熊野稔、後藤隆太郎、佐藤栄治、重村力、清水肇、柴田加奈子、沼野夏生、平田隆行、三橋伸夫、柳田良造、山崎寿一、山崎義人、三笠友洋（議事録作成(前半)）、栗原伸治（議事録作成(後半)）

I. 確認事項

- ・前回本委員会（7月19日）議事録を確認した。

II. 報告事項

- ・研究会「むらを住み継ぐカタチ#03:大分県国東市」実施計画について報告された。

III. 審議・懇談事項

1. 2015年度大会集会企画提出依頼

- ・研究協議会：震災関係（阪神淡路から20年、中越から10年）をテーマにする。
→後藤隆太郎委員と集落復興小委員会が中心に企画する。
日本建築学会農村計画委員会からの発信を意識する。
- ・PD：農山漁村地域組織小委員会が企画する。

2. 推薦依頼関係

(1) 2015年日本建築学会大賞候補業績

- ・今後、他の委員会や支部などいっしょに推薦することも視野に入れながら検討する。

(2) 2015年日本建築学会文化賞候補業績

- ・大南信也氏（グリーンバレー）を推薦したい。
→山崎義人委員と田口太郎氏から打診する。

了解が得られれば、四国支部といっしょに推薦する。

(3) 2015年日本建築学会教育賞（教育業績）候補業績

- ・丸山欣也氏を推薦したい。
→重村力委員のメモをもとに、平田隆行委員が書類を作成する。

3. 本委員会関係

(1) 催し物実施報告

①2014 年度農村計画委員会春季学術研究会

「住み続ける被災地の農村、その復興はどうあるべきか？」

- ・ 7/19 東北工業大学一番町工大ロビーにて開催され、約 50 名が参加した。
- ・ 翌日 7/20 は、宮城県山元町の視察と住民との意見交換会を実施した。

②日韓研究会

「農漁村における創造的再生と福祉を通じた地域コミュニティ」

- ・ 8/22 岡山大学津島キャンパスにて開催した。
(韓国側から直島にいきたいとの希望があったため)
- ・ 韓国側からは 12 名が参加した。
- ・ 8/23,24 直島、豊島、犬島のプロジェクトを見学した。
- ・ 今後も日韓研究会を継続することで日韓双方が合意した。

(2) 小委員会活動報告

○農村国土計画委員会

- ・ 長野県飯島町、三重県津市にて調査を実施し、それぞれ 6~7 名参加した。

○農山漁村地域組織小委員会

- ・ ひきつづき、先進事例地を増やし充実した資料を作成していく。
→来年度の PD の頒布用の資料集とする。
- ・ 現地視察の企画も視野に入れている。

○集落復興小委員会

- ・ 春季学術研究会の企画・運営をおこなった。
- ・ 研究助成金が 9 月末に切れるため、とりまとめが必要である。
- ・ 黒本の刊行がそろそろ落ち着く。
→落ち着いたら、来年度の研究協議会にむけての企画をたてたい。
- ・ 『集住の知恵』の第 2 弾（災害編）のような出版企画もたてたい。

○集落居住小委員会

- ・ 9/13 の研究懇談会を企画・運営する。
- ・ 11/22 に、I ターン等をテーマとした公開研究会を大分県国東半島にて開催する予定。
(『建築雑誌』に会告予定)
- ・ この公開研究会を終えたのち、来年度の活動計画をたてる。

4. 『東日本大震災合同調査報告』進捗状況について

- ・ 共通編 3 編は刊行済。
- ・ 日本建築学会（11 編）建築編 9 編 社会システム／集落計画は、2015 年 5 月刊行予定。
ほぼ 9 割の原稿が入稿済。
現在、後藤隆太郎委員、佐藤栄治委員、三笠友洋委員でレイアウト等調整中。